

「令和6年度第3回 独立行政法人勤労者退職金共済機構契約監視委員会」の審議概要について

開催日 及び場所	令和6年12月17日(火) 勤労者退職金共済機構 19階役員会議室(Web開催)
委員 (敬称略)	竹内 啓博(公認会計士) 田極 春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 清水 幸(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事) 熊谷 麻貴子(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事(非常勤))
審査対象	令和6年8月～令和6年10月に契約締結された案件
概要	<p>● 点検・見直しの審議について 令和6年8月～令和6年10月契約の事後点検についての審議 【競争性のない随意契約】 合計 4件 【一者応札・一者応募】 合計 6件</p> <p>【主な指摘事項等】</p> <p>(1)随意契約 「機構業務端末及び周辺機器ハードウェア更改役務」 入札辞退の理由について、人材不足等が挙げられたため、調達時期を早める等十分な公告期間を確保すること。 また、複数業者への声かけ・情報収集等を行い、より多くの見積もり取得に努めること。</p> <p>(2)一者応札・一者応募 「建設業退職金共済事業本部サイト刷新に係る調査検討業務 一式」 応札(応募)要件について、「会員等企業10万社以上の事業や類似制度でのWebサイトの構築(いわゆる下請けとしての実績は含まない。)若しくはコンサルティング業務の実績があること。」としているが、要件について参入障壁が高いと思われるため、見直しを行うこと。 また、今回の調達(サイト刷新)時においても、要件の部分で排除される業者が少なくなるよう、入札要件の根拠も含めよく検討すること。</p> <p>【指摘事項等に対する対応】</p> <p>(1)随意契約 更改等の時期が予め把握できる案件については、調達時期を早める等、公告期間の見直しを行い、複数業者が応札できるよう努めることとしたい。 また、複数業者への声かけ・情報収集等を行い、より多くの見積もりを取得できるよう努めることとしたい。</p> <p>(2)一者応札・一者応募 仕様書に記載する要件について、仕様書の要件を緩和しても業務上支障がないか検討し、今回の調達(サイト刷新)の際には、要件を精査することとしたい。</p>